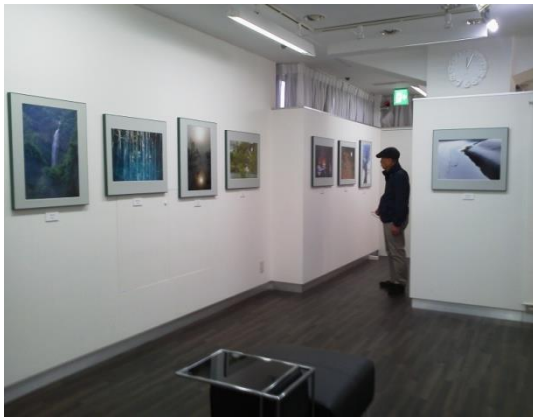


支部だより

2015.7.24 No 3 東京支部事務局
第11回作品展会場 フレームマン キンザ サロン



(2014. 11. 21~11. 27 会場オープン時)

「あっ! ぼったり!! 驚き!!!」

渡邊 忠宏

長野県高山村での感動をお伝えします。

昨年は10日ほど時期が早く、有名な五代桜は全てつぼみ状態で空振りに終わりました。今年は4/25~27の日程が満開に当たり、さらに三日間快晴の天気にも恵まれました。高山村は飛騨高山と間違えられますが、長野市の東にある小さな村です。

この村に樹齢数百年の枝垂れ桜が多数あり、中でも五大桜には多くの写真家が訪ねます。協会の指導会員でいらっしゃる青野先生同行で「青の会」の五人で再訪しました。

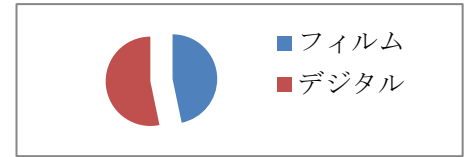
26日午前、「水中枝垂れ桜」におきまして、東京支部の方々に来ていたことを先生からお聞きしましたが、圧倒される桜の前に、撮影に夢中で声を交わすことができませんでした。撮影現場を「赤和観音のしだれ桜」に移した時に支部の方々に会い、言葉を交わしました。OさんKさんと数名がいらっしゃいました。

長野県しかも小さな村で、支部の方々に出会えたことにほっとしたと同時に、感動しました。作品にその時の感動が表現できればいいのですが・・・

11月下旬に予定しております第12回作品展の「参加」「不参加」のお返事の締切は7月30日です。「参加」のお知らせをお待ちしております(担当・井上)

昨年度、第11回作品展では、応募作品のフィルム、デジタルの別を数であらわすとF50点、D57点でした。合わせて107点の協力を頂きました。

撮影月	点数
3	1
4	2
5	2
6	2
7	2
8	0
9	2
10	2
11	5
12	1
1	3
2	2



撮影月の作品数を見ると展示作品では、左の様になります。昨年度ご覧頂いた通りです。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

今年度の作品展のご案内は既に一斉メールでお伝えしましたが、昨年の様子を概略お伝えしました。今年度の作品選びに参考になりますでしょうか。

第2回例会が行われました(6/13 土)

今回の例会では講師の川隅先生の講評の中にタイトルの付け方についても特に入れて頂きました。

今回の2番バッテリー、W氏の講評の時、展示した作品について「タイトルは相応しいでしょうか」との質問がありました。川隅先生は「写真で勝負が基本だけれど、タイトルも重要」との指導がありました。

7番バッテリーのY氏の作品では「タイトルよりも先に桜のつぼみをもっと意識して・・・」「その上でタイトルを付ける」正に「写真で勝負」と言うことでした。逆転してはいけないのですね。

今日の例会ではわが支部のオーソリティーT氏のひとこと「題名が一番困るんだよ」が印象に残りました。

第二回例会出席者	17名(見学者1名を含む)		
作品持参者	プリント	9名	48点
	ポジ	2名	10点

支部事業日程の追加

2016年度の総会 2016年1月30日(土)
2015年「秋の撮影会」10月24日(土)~25(日)
早めのお知らせですが、ご予約の中に加えて下されば幸いです。(本部撮影会と重なっていますが了解済み)